

日本臨床検査自動化学会科学技術委員会  
平成 28 年度第 1 回委員会議事録

1. 日時：平成 28 年 5 月 13 日（金）16:32～17:56
2. 場所：オークラアクトシティホテル浜松 3F 桜の間  
（日本臨床検査自動化学会第 30 回春季セミナー）
3. 出席者（敬称略）：池田、大久保、澤部、白井、山舘、三村、神山、篠原、外園、  
藤本、浅田、高崎、柏木、田中、高笠、谷本、御子柴、田代、  
桑、大澤、細萱、（森川）  
欠席者（敬称略）：芦原、片岡、松本、村本、山本、河口、松原

4. 配布資料

- 資料 1：平成 28 年度第 1 回科学技術委員会開催通知
- 資料 2：平成 27 年度科学技術セミナーアンケート結果 1
- 資料 3：平成 27 年度科学技術セミナーアンケート結果 2
- 資料 4：平成 27 年度第 2 回科学技術委員会議事録
- 資料 5：平成 28 年度科学技術委員会委員名簿
- 資料 6：科学技術委員会マニュアル第 15 集企画案
- 資料 7：IHE 臨床検査部門活動報告
- 資料 8：科学技術委員会マニュアル第 16 集企画案

5. 議事：

1) 報告事項

澤部事務局長より、昨年度の学術集会時に開催された第 16 回科学技術セミナーのアンケート結果（資料 2, 3）について報告があった。講演に関しては全般的に好評な意見が多かった。次回以降の要望については様々で統一的な意見はなかったが、今後の参考としたい。

2) 審議事項

(1) 平成 27 年度第 2 回委員会議事録の承認

前回の委員会議事録はすでにメール審議にて確認されているところであるが、改めて承認された（資料 4）。

(2) 平成 28 年度委員会委員について

シスメックス（株）の社内異動により、石井委員から森川委員へと交代されることが報告された。また、神山委員よりメルク（株）の金沢氏が新規委員候補として推薦され、審議の結果承認された。なお、新委員は理事会にて承認された後の正式就任となる（資料 5）。

(3) 科学技術委員会マニュアル（第 15 集）の発刊について

昨年度より編集幹事である大久保副委員長を中心として、汎用自動分析装置の基礎と移り変わりをテーマとして発刊の準備を進めてきた（資料 6）。また、この会議の 1 時間前にも関係者間で打ち合わせを実施した。構成は、1. 汎用型自動分析装置の動作原理の基本、2. 分析装置の移り変わり、3. 各社の代表する装置の紹介、となっている。当初はバリデーションも掲載予定であったが、紙数と予算の関係から見送ることとした。来月の学会誌発送に合わせて送付予定である。また、販売価格は 1500 円とすることになった（会員には無償配布）。

#### （4）第 17 回技術セミナーについて

第 15 集マニュアルに基づく技術セミナーを 2016 年大会時（横浜）に実施する。今年度は初日が祝日であることから例年とタイムスケジュールが異なっており、セミナーは 16～18 時で実施される。その後 18 時 30 分より学会主催の懇親会が開催され、お弁当の配布は無しとなる。

セミナーの詳細はまだ決定していないが、メーカー委員は発表しづらい面もあるので演者はユーザー委員を中心に考えている。エイアンドティーの榊氏、山舘委員には既に発表の了解をいただいた。

来年以降の学会において、初日の展示会や最終日のランチョンの人員確保などの面から、初日にメーカー主催のサテライトセミナー、2 日目に学会主催の懇親会、3 日目午後に技術セミナー、などの意見が委員より出された。各委員からは、賛同する意見の他に、むしろ参加しやすいメインの時間が良いとの意見もあった。また、従来横並びで実施している 4 つの技術セミナーを分散開催して、複数のセミナーに出席できるようにすることに関して多くの意見があった。

#### （5）IHE 臨床検査部門活動報告

大久保副委員長より資料 7 に基づいて IHE 臨床検査部門の活動報告があった。2015 年の活動実績などについて説明があり、IHE によるシステム連携の標準化活動が少しずつではあるが、進展していることが報告された。

#### （6）科学技術委員会マニュアル（第 16 集）について

池田委員長より、資料 8 に基づいて次回のマニュアル（第 16 集）の企画案（臨床化学検査に用いる測定試薬の成り立ちと特徴および適正な使用方法）について説明があった。今年度のテーマが分析機器であったので、今回は試薬を主題として考えたい。各委員からは更に追加する項目として、保存剤・安定化剤、試薬の代表的な測定原理、各試薬の主な組成の一覧、試薬の異常の見つけ方、患者試料と試薬組成との異常反応事例、等の意見が出された。今回いただいた意見を踏まえて事務局で検討し、改めて報告することとなった。

#### （7）次回の委員会開催予定について

次回委員会は 2016 年度大会時に開催予定であるが、学会スケジュールの変更に伴い、委員会も 9 月 24（土）朝 8～9 時に実施予定である。

(8) モーニングセミナーについて

今年のモーニングセミナーは、9月23・24日(金・土)の両日にピットフォールをテーマとして実施される。9月23日分のセミナーに関して、当委員会に生化学・免疫検査のピットフォールについて取りまとめが依頼されたことから、司会を前川先生(浜松医大)、演者として神山先生(浦和医師会メディカルセンター)、阿部先生(慈恵医大葛飾医療センター)に依頼し承諾をいただいた。

(記録：澤部)